

【整理解雇の記載例】

〇〇年〇〇月〇〇日

山梨県労働委員会
会長 〇〇 〇〇 様

申請者 〇〇 〇〇

※個人の場合は、署名又は記名押印

※法人の場合は、法人の名称及び代表者の職・氏名を
署名又は記名押印

あ っ せ ん 申 請 書

次のとおり個別的労使紛争に係るあっせんで申請します。

労働者	住 所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号	電話番号	000-000-0000 ※常に連絡のとれる電話番号
	氏 名	〇〇 〇〇	雇用形態	正社員(アルバイト、パート等)
使用者	事業所の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※労働者が働いている(いた)事業所の所在地	事業所名	〇〇株式会社〇〇支店 (支店長〇〇 〇〇) (電話〇〇部〇〇課〇〇係 000-000-0000)
	本社等の所在地	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 ※本社等の所在地	本社等の名称	〇〇株式会社〇〇本社 (電話000-000-0000) ※本社等の名称
	代表者の職・氏名	代表取締役〇〇 〇〇 ※社長など代表者の職・氏名	事業の種類	製造業 ※業種
あっせん事項		職場復帰を求める。 職場復帰できない場合は、経済的・精神的損害の補償金として、〇万円の支払を求める。		
当事者の主張	労働者	経営不振というが、整理解雇しなければいけないほどではない。 私が整理解雇の対象になぜなったのか何の説明もない。 これは不当な整理解雇である。		
	使用者	経営不振のため辞めてもらうしかない。 補償金を支払う余裕はない。		
申請に至るまでの経過		〇年〇月〇日 入社、〇年〇月〇日から正社員として工場勤務をしていた。 〇年〇月〇日 社長から経営不振を理由に同年〇月〇日付けの解雇を通告された。 同年〇月〇日 社長に解雇を撤回してくれるようお願いしたが聞き入れてもらえなかった。併せて、補償金の支払等の提案も行ったが、拒否された。		
参考事項		同年〇月〇日 山梨県中小企業労働相談所の相談を受けた。 労働契約書(有・無) 就業規則(有・無) 労働組合(有・無) 就業開始日 〇〇年〇〇月〇〇日(勤続年数〇年) 対応者 社長 〇〇 〇〇		